



2024.11月

会員の皆さん、こんにちは。11月4日(月・振替休日)、岐阜大学医学部記念会館において令和6年度つかさ会秋の講演会が開催されました。岐阜大学医学部附属病院 リハビリテーション部の田中健太先生に、糖尿病治療における運動療法のポイントについてご講演をいただきました。「運動」という言葉自体が、体を動かすハードルを上げている側面もあるそうです。家事などの日常生活で「体を動かす」ことも、「運動」と同じような効果が期待できると学ぶことができました。また、11月11日～17日の1週間は「全国糖尿病週間」でした。今年のテーマは、『みんなで正しく理解しよう「ダイアベティス」』でした。岐阜大学病院でも、糖尿病の知識を深めるための講演会を11月13日に開催いたしました。また11月10日には岐阜県庁ミナモホールにて「世界糖尿病デー記念県民セミナー in Gifu 2024」も開催されました。この全国糖尿病週間が、皆さんの糖尿病に対する理解をより深めるきっかけになればと思います。

さて、今回の『さかえ』のよみどころは、つかさ会秋の講演会でご講演頂いた、当院のリハビリテーション部の田中健太先生に紹介してもらいます。

会員の皆様、こんにちは。岐阜大学医学部附属病院 リハビリテーション部理学療法士の田中です。朝夕の寒さが一段と厳しくなり、初霜の便りも届く季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今月の『さかえ』の特集1は「糖尿病アドボカシーの未来予想図(P.5)」です。本編では日本糖尿病学会とJADEC(日本糖尿病協会)が協働する糖尿病のアドボカシー活動の最新状況を、高名な先生方の対談を通じてお届けします。アジア全体の動向を踏まえ、今後日本で取り組むべき課題や、糖尿病に関わる医療従事者へのメッセージなど、深い示唆に富む内容となっています。特に、海外の事例を挙げながら「医療従事者と糖尿病のある人たちが同じ方向を向いて一緒に進むことが大きな力となり、そのためにまずはお互いを知ることが重要」と語られており、大変印象的です。この特集が、皆様が互いを理解し、共に前進するきっかけになれば幸いです。ぜひご一読ください。特集2は「高齢者の内臓脂肪の蓄積と糖尿病」(P.17)です。「内臓脂肪の蓄積が健康に良くない」という点は、多くの方がご存知かと思います。本特集では、急速に進む高齢化とそれに伴う糖尿病の増加、さらに内臓脂肪がそれらにどう関与するのか、そしてその予防法について、グラフやイラストを交えて分かりやすく解説されています。日頃から患者さんに運動指導を行っている私としても、参考にさせていただきたい実践的な内容が盛りだくさんです。

これからますます寒さが厳しくなりますので、どうぞ体調を崩されませんよう、暖かくしてお過ごしください。